



NPO法人tadaima! 代表理事 三木智有氏

現代社会は共働き世帯が増加し、個人の価値観や生き方が多様化しています。そのような中では、これまでの長時間労働を前提とした働き方や性別に基づく固定的な役割分担意識※を見直す必要があります。そのため、家族間ですれ違いがちな家事、育児のコミュニケーションを円滑にするための「誰もがきりりセミナー～男性(パパ)の本音、女性(ママ)の本音～」を開催しました。講師に三木智有先生(NPO法人tadaima! 代表理事)をお招きし、ソーシャルスタイルという行動交渉術を元にした、個人に合ったコミュニケーションの取り方を学びました。

※性別に基づく固定的な役割分担意識…
男性、女性という性別だけを理由として、役割を固定的に分けることをいいます。例えば、「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」といった意識のことです。

「ぼくんちの師走」



作:miina 絵:daisuke

三木先生直伝!!

ソーシャルスタイル= 行動特性の違いによる
コミュニケーションの取り方

あなたはどのタイプ?	相手のタイプにあったコミュニケーションの取り方は?
エクスプレッシブ(感覚派) ・即断即決、みんなを楽しませつつ巻き込む話すスピードは速め。 ・身振り手振りが伴う ・明るい、面白い、感覚的・直観的な印象	・前のめりになって相手と同じテンションで ・回りくどい説明はしない ・イメージやビジョンに訴えかける
エミアブル(協調派) ・サポート的、みんなでわきあいあいする ・話すスピードはゆったり。穏やか ・優しい、いい人、やんわりとした印象	・前のめりすぎても、後ろ向きすぎてもNG ・うなずき、話を理解し共感していることを示す ・相手の立場に立った提案をする
ドライバー(現実派) ・白黒はっきりさせる。決断するとどんどん進む ・話すスピードは速め。結論から。力強さがある ・やり手、できる人、アグレッシブな印象	・個人的な感情よりも事実 ・情報が重要 ・結論から伝える ・提案を2つの選択肢まで絞る
アナリティカル(思考派) ・よく考え、慎重。時間をかけ過程重視 ・話すスピードはゆったり。淡々と冷静、真面目、おとなしい印象	・あまり前のめりにならないように ・論理的な説明が重要 ・すぐに結論を促さない

自分のタイプ、相手のタイプを認識し、話すスピードや口調、話の組み立て方を少し変えることで、コミュニケーションをより円滑にとることができます。家事も育児も共に支え合える素敵な関係を築いていきたいですね!

【編集後記】
行政、政治、災害など、たくさん学ぶことがあります。みんなと共にみんなで仲良く学び続けましょう。

編集委員/阿久津一志 大住みどり 菊池和子 菊地千恵 鈴木房代 柳場美枝子
編集/みんな編集委員会 発行/那須塩原市企画部市民協働推進課
〒325-8501 栃木県那須塩原市共壘社108番地2
Tel:0287-62-7019 Mail:kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp



女性(わたし)を活かす!

「とちぎウーマン 応援塾2016」
研修報告

菊地裕子さん



自分らしさを大切に



「高校生が描く 男女のきりり社会」
県立那須拓陽高等学校

もくじ

「とちぎウーマン応援塾2016」研修報告	P2
誰もがきりりセミナー「高校生が描く男女のきりり社会」	P3
誰もがきりりセミナー「男性の本音、女性の本音」	P4
四コマ漫画「ぼくんちの師走」 編集後記	P4

「とちぎウーマン応援塾2016」研修報告

～女性(わたし)を活かす!～

栃木県では、“地域のために活動してみたい”“自ら一步を踏み出したい”と考えている女性を応援するため、今年度「とちぎウーマン応援塾2016」「男女共同参画地域活動推進講座」を実施し、本市から「とちぎウーマン応援塾2016」に参加された菊地裕子さんに、研修を終えた感想を寄せていただきました。



菊地 裕子(太夫塚)

今年度、6回にわたる講座は、毎回ドキドキワクワクの連続で、他市町のみなさんと情報交換をし、各地域で「まちおこし」に貢献されている方々のお話を聞くことができ、本当に有意義なものだったと実感しております。

毎回のように、大学の先生による講話があり、グループワークでの取り組みは、私自身のスキルアップに役立ちました。



第1回目に県知事からの講話があり「進学のため、地元を離れた女子学生の2割以上が、栃木県に戻ってこない。」ということを知り、大変驚きました。そのお話は、私たち自身の住む地域をより魅力あるものにしようと、仲間と一緒に活動を始めきっかけにもなりました。私たちの2025年問題は、今の若い人に委ねるのではなく自分たちで準備しようと、地域内の空き家を活用させていただき「しゃべり場」をつくる活動を始めました。講座には、同じ子育て卒業世代の方々が多く参加されており、「私たちの世代が学ばなければ、次につながらないのだ!」と気づきました。今、子育てに忙しい人たちに向けて、ちょっとお姉さん世代の私たちが「学び、伝え、応援していくこと」でサポートしたいと思いました。

研修の中で心に残った言葉が「ほめる、たたえる、励ます、鼓舞する」です。私たち一人ひとりが、家族や仲間だけでなく、職場の人、目の前にいる人、みんなの声に耳を傾ける「聴す(ゆるす)」ことができれば、那須塩原市は、地元温泉のように温かく、よりハッピーな地域になることでしょう!!

さあ!次はあなたの番です。勇気をもって、一步踏み出してみませんか。

研修日程

第1回 7月9日(土)

- ・講義「県の男女共同参画推進施策について」
- ・知事講話・講義「協働」

第2回 7月16日(土)

- ・講義/グループワーク「リーダーの資質」
- ・事例紹介・参画者との交流

第3回 8月27日(土)

- ・県外研修「NVEC 男女共同参画フォーラム」

第4回 9月10日(土)

- ・講義/OA研修
- 「男女共同参画を進める統計の基礎知識と活用」

第5回 9月25日(日)

- ・講義「女性活躍の重要性について」
- ・講義/グループワーク
- 「コミュニケーション～受け止め方と伝え方～」

第6回 10月22日(土)

- ・参加型トークセッション
- ・閉講式・報告会・交流会

【誰もがきりりセミナー】

日時:平成28年10月31日(月)
会場:栃木県立那須拓陽高等学校



～自分らしさを大切に～ 高校生が描く男女のきりり社会

DVは、重大な人権侵害であり、絶対に許されるものではありません。そのため、中高生に対するDV防止のための啓発として、県立那須拓陽高等学校の3年生を対象に、誰もがきりりセミナー「高校生が描く男女のきりり社会」を開催しました。

県男女共同参画地域推進員がデートDV^{*}に関する朗読劇を上演し、その後は各クラスにおいて、劇の感想を話し合い、また、デートDVについての劇を高校生自らが演じました。劇や話し合いを通して、「DVとは配偶者間だけではなく、より身近な関係で起こりうること」「DVには様々な種類があり、気づかないうちに被害者または加害者の立場になりうること」など、デートDVとはどういったものなのかを学びました。



デートDV劇「それって本当にらぶらぶ?」

～あらすじ～
女子高生のみるくには幼なじみの恋人がいます。誰もがうらやむラブカップルでしたが、実はみるくには人に言えない悩みがありました...

また、恋人との関係だけではなく、友達や人との関係をより素敵なものにするためにどうすれば良いのか、誰もが自分らしく生きていくにはどうすれば良いのか、高校生たちは一人一人が真剣に考えていました。



高校生の感想

・DVにも「身体的」「精神的」「経済的」「社会的」「性的」と色々な種類があることを知りました。お互いに自分の気持ちも大切だけど、相手の気持ちも良く考えてあげることの重要さに気づきました。



・デートDVというものはあってはならないものだということを知りました。私たちの身の周りにも受けている人がいるのかもしれない。そのときは私も相談相手になれるようにしたいです。自分の意志を持つことが大切だと学びました。

地域推進員の感想

・DVの問題には命の大切さも含まれます。そのことを将来を担う子どもたちに一人でも多く気づいてもらえたら、と思っています。

※デートDV…交際中のカップルの間で、一方が他方に対して繰り返し行う暴力のこと

- 身体的な暴力 (殴る・蹴る・モノを投げる、首を絞める など)
- 精神的な暴力 (ひどい言葉で傷つける、無視する、終始行動を監視する、メールなどのチェックをする など)
- 経済的な暴力 (お金をたかる、借りたお金を返さない など)
- 社会的な暴力 (家族や友達との関係を制限する、外出を制限する など)
- 性的な暴力 (キスやセックスを強要する、避妊しない など)